

■ ようせつ ちゆうしやう
夭折の抽象画家

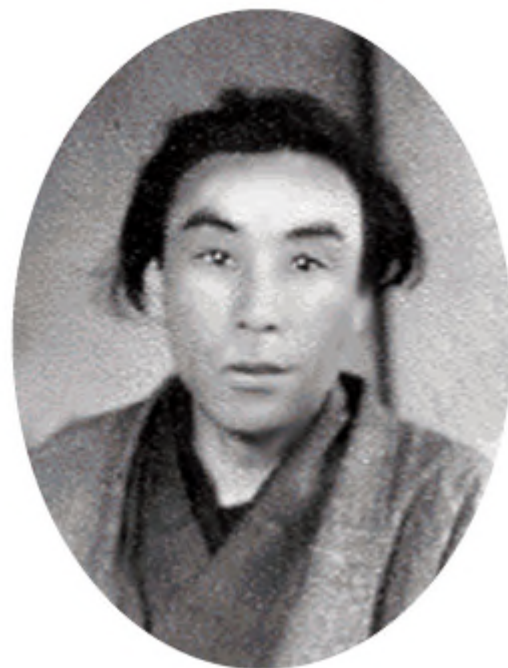
広幡 憲

ひろはた けん

出身地 大仙市（旧中仙町）

1911年（明治44年）～1948年（昭和23年）

仙台や東京で在学中に絵を学ぶ。秋田に戻った際、
藤田嗣治の助手を務める。これが機縁となって再上
京、二科展に初入選する。第二次世界大戦後、自由
美術協会などに作品を発表し、前衛画家の旗手とし
て注目される。



年譜

- 1911年 大仙市（旧中仙町）に生まれる。
旧姓・高橋、本名・憲太郎のち憲導。
- 1924年 仙台市梅檀中学に入学。同校卒業後、上京し
日本大学に入学。石膏デッサンや洋画を学ぶ。
- 1935年 帰郷。夕刊秋田の記者となる。
- 1937年 藤田嗣治の壁画制作に際し、助手を務める。
上京。二科展に「山小屋」を出品、初入選。
- 1946年 二科会再建第1回展で特賞、同会会員となる。
- 1948年 自由美術に移籍。「白い作品A」「白い作品B」
を出品。東京都で没。37歳。